

I. 平成30年度の実績

グループ名称	せとうちエコライフ推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0264	—	0672

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	①セルロースファイバー断熱材を使った気密性の高い家づくりの推奨 ②水害地域の復興支援として地域材の利用を積極的に行う ③断熱性・気密性・耐震性を高めるため建物外周部の耐力面材の使用 ④省エネ機器の積極的な採用
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/18	名称	平成30年度地域型住宅グリーン化事業説明会			●
	内容	①昨年度からの主な変更点について ②グループのルールについて ③工務店様への配分方法について ④質疑応答							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称				
	内容								
	消費者説明会 2		開催日		名称				
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/05/19	名称	地域工務店だからできる「価値」ある暮らしの提供	タイプ	座学	●
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有								●
	内容	グループ事務局がプレカット事業者であるため、特に長期優良住宅の計画に当たっては、プレカット図面を作成する際に耐震等級の計算・申請書類の作成などサポートを行った								
取組み②	サポートの有無 2	有								●
	内容	グループ事務局関連会社が施工事業者であることと、プレカットを行っている工務店様で経験の多い工務店様もいらっしゃるの、事務局で解決しないことは相談しながら、個別にはあるが申請書類や施工方法のサポートを行った								
取組み③	サポートの有無 3									
	内容									

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	20
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	快適住実の家他	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	無			
内容				
② H30年度における施工構成員の廃業	無			
対応内容				

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有			
内容	断熱性の向上に必要な機密の重要性を知ってもらうため、現場をピックアップし、気密測定による検証をした			
省エネ化に対する取組 ②				
内容				
BELS工務店の登録数	6 社			

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	せとうちエコライフ推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0264	—	0672

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/09	名称	平成31年度地域型住宅グリーン化事業説明会		
	内容	①昨年度からの主な変更点について ②グループのルールについて ③工務店様への配分方法について ④質疑応答						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/07/20	名称	現場見学会		
	内容	高断熱・高气密の現場で、夏の暑い時期に断熱性の高さの体感をしていただき、グループとしての考え方をご理解していただく。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/10/23	名称	東大大学院 前準教授による断熱・気密についてのお話	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/11/20	名称	HEMS・リチウムイオン蓄電池システムセミナー	タイプ	座学
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	グループの意図を理解してもらいながら、 昨年同様、長期優良住宅に関してはプレカット構造図作成時等に耐震等級の計画や申請書類の補助を行う 工事進捗に合わせた書類の取りまとめ等のアドバイスを行う						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	ゼロエネ・認定低炭素に関してはBELS認定申請等の相談、補助を行う 工事進捗に合わせた書類の取りまとめ等のアドバイスを行う						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	快適住まいの家他
------------	----------	-----	----------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	構成員の中から協議の上、代行構成員を斡旋する						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	グループ等が省エネに関する研修会を行い、登録業者様に積極的に参加していただく						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	リフォームをメインに工事されている工務店様もいらっしゃるの、改修の計画時に断熱・省エネ機器等の効果をご説明し、積極的に採用していただけるようお施主様へ提案を行う						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/07/22				
内容	グループとして共通ルールを提案し、各工務店様のご意見もお伺いしながらグループとしてのルールを確認する						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	せとうちエコライフ推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0264	—	0672

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	①セルロースファイバー断熱材を使った気密性の高い家づくりの推奨 ②地元産木材の積極的な採用 ③断熱性・気密性・耐震性を高めるため建物外周部の耐力面材の使用 ④省エネ機器の積極的な採用
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上	
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有	①土台・柱 90%以上地域材を使用する		
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無	②梁・桁 合法木材を使用する		
造作材	枠材、廻縁等	無			
板材	壁板、床板等	無			

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	例年からの使用実績を考慮した在庫管理に努める	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	高度省エネ型(ゼロエネルギー住宅)の給湯機器等、エネルギー設備に関してはコストダウンも考慮し推奨商品を提案していく	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	事務局が取りまとめ、定期的に情報発信する	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	現場施工の省力化、生産性の向上、精度向上のため床下断熱材、木材プレカット、耐力面材のプレカットを可能な限り採用する	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	①引越後、1年ごとに最低1回の点検を2年間実施する ②住宅瑕疵担保保険の保証ルールに従い誠実に対応する ③写真もしくは任意の報告書による確認	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	竣工時に計画通り建物が建っているか立会いの確認を実施	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	特になし	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	働き方改革の観点より、意見交換を重ね今後の対応に備えていく
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	建築現場の職人不足への対応の勉強会を実施し、大工手間の待遇改善を検討していく
③ 社会保険への加入	有	内容	建築業界全体の問題と考え、事業者完全加入を推進する
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	熱中症予防など現場従事者の労働災害撲滅のため情報発信していく

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	せとうちエコライフ推進協議会				
H30採択グループ番号	07	—	0264	—	0672

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	愛媛県は和紙の産地でもあるので、和紙の畳などお客様への提案を積極的に行う
② 和瓦の活用	有	内容	近年は平屋の家も多いので、和風のデザインも積極的に提案していき、和瓦の提案も行う。
③ 襖・障子の活用	有	内容	近年は洋風な和室も多いが、断熱性も高くなるため内障子採用の提案を積極的に行う
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	愛媛県は和紙の産地でもあるので、和紙の畳などお客様への提案を積極的に行う

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	伝統的なデザインは特に見当たらないが、採風や通風が自然にできる設計を心がける
② 地域の住まい方の継承	有	内容	現場見学会等を通じて、お客様に向けた情報発信・提案をしていく
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	周辺の景観に調和した外観デザインを提案し、地域の街並みを守るよう提案する

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み

愛媛県は昨年度豪雨による被災地域でもあり、地元で製造されている木材・建材などを中心とし、
その他の被災地域で製造されているものについても積極的に使用し、復興に少しでも寄与できるよう努める

② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み

グループのネットワークを使い、できるだけ停滞期間を短くする様、復旧・復興に向け積極的に協力し合う。
また、材料供給への影響を最小限に抑えることができる様、複数供給ルートを確認できるよう努める。